



TSURUMAU

菱町の静かな山間に立つ民泊 TSURUMAU（ツルマウ）は、2019年9月、『鶴、舞う』形の群馬県に生まれた桐生初の民泊宿。民泊は住宅の全部または一部を活用し提供する宿泊サービスを指し、2018年には法律が整備された。訪日外国人観光客の増加や宿泊へのニーズが多様に変化するなか、新しい旅のスタイルとして注目を集めている。

TSURUMAU は築 100 年を越える平屋の日本家屋を改装。間取りは 6DK でリビングルーム、バス・トイレ、キッチンを備える。原則素泊まりで料金は 3500 円から。施設内は使いやすく改修されているのと同時に、古民家ならではの温かみのある心地よさも共存している。周囲は四季折々の美しい自然に囲まれ、車の音の代わりに鳥や虫の鳴き声、川のせせらぎが響く。旅の中継地点として立ち寄り人や、ただのんびりと過ごすために訪れる人など利用方法はさまざま。敷地内の広大な庭ではグループでバーベキューや、星空の下でキャンプを楽しむこともできる。「宿としてだけではない、旅人が思い思いに過ごすためのオープンスペースとして使ってほしい」とオーナーの川堀奈知さんは提案する。

川堀さんは 2 年前に桐生に U ターン。学生と社会人時代の 2 回、ドイツ暮らしを経験しそこで旅に目覚めた。旅の途中で頻りに利用したユースホステルに感化され、「旅人が過ごせる素敵な場所を桐生にも作りたい」という想いと、一目ぼれした古民家との縁が川堀さんを民泊事業へと導いていく。民泊の他にも、雑貨とコーヒー、スパイスカレーの共同店舗「ento（エント）」の運営や、今年 4 月には JR 桐生駅構内の立ち食い蕎麦屋跡を改修したチャレンジショップ「オーライ（ALL RIGHT）」をオープンするなど、様々な角度から地元・桐生との繋がりを深める。

「ホストさんが温かく優しい人柄」、「おばあちゃん家に来たみたい」、「心から安心してくつろげる空間」と、利用者からの評価も高い。川堀さんと桐生の飾らないもてなしが、旅人を優しく包みまた次の旅へと送り出す、織物のまちで旅と旅を紡ぐ場所だ。



【TSURUMAU】

- 住所／桐生市菱町5-689-1
- 予約サイト／【airbnb】<https://www.airbnb.jp/>
- HP/<https://tsurumau.info/>



旅と旅を紡ぐ
桐生初の民泊宿